

浜松まつりを彩る「市凧」の糸目付けについて

1 目的

伝統行事である「浜松まつり」は、凧揚げ合戦などを中心に多くの市民が参加する市内最大級のイベントであり、国内外からの観光客を呼び込む強力な観光資源となっています。

市では、凧揚げを魅力発信の絶好の機会と捉え、これまで、市制100周年、浜名湖花博、直虎プロジェクト推進事業、新元号など、シティプロモーションの一環で、その年を象徴する凧を揚げてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、近年は行っておりませんでした。今年、4年ぶりに実施することといたします。

今回は、2023年大河ドラマ「どうする家康」(NHK)の放送を契機に、徳川家康公ゆかりの地浜松を市内外の方々にPRするため、下記デザインの凧を5月3日(水・祝)の開会宣言に合わせて、大空に舞い上げます。

これに関連し、以下の日程において糸目付けを行います。

2 日時・場所

【日時】 令和5年4月22日(土) 9:00~10:30 (糸目付けが終わり次第解散)

【場所】 浜松まつり会館北側搬入口付近(住所:南区中田島町1313)

(雨天の場合は、浜松まつり会館の中で実施)

3 参加者

浜松まつり組織委員会企画統制監理部、浜松市職員ボランティア

4 デザイン



5 大きさ

6帖凧(1辺が約2.9m)、4帖凧(1辺が約2.4m)